

支援プログラムの公表

事業所名

さわらび園

支援プログラム

作成日

2026 年

3 月

20 日

法人理念		心身に障害のある人とのかかわりを通して、ボランティアの心を育み、すべての人々が共に良い人生を送れる社会づくりを行う							
支援方針		①障がい児療育の基本は人間教育であって、決して特別ではないという原理を基調とする。②障がいの早期発見、早期療育を推進していくことを原則とし、障がい児の療育を中心とする。③障がい児の全面的な発達にはスタッフと保護者の緊密なチームワークによって促進されることを重視し、保護者の学習の機会を十分に持ち、家庭養育への支援を基盤にした親子療育支援を行う。④こどもの真の発達保障と幸福を考えると、あらゆる機関、団体はもとより、地域やボランティアの受け入れを促進し、社会に対する啓発的役割を果たす。⑤職員、ボランティアの資質の向上を図る。							
営業時間		9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	こどもが安心して園生活が送れるよう、日課や場面をわかりやすく設定し、見通しを持って一日を過ごせるような環境を整え、生活のリズムをつくっていく。生活習慣の取り組み（靴の履き替え、着替え、排泄、食事など）を日課の中に入れ込み、こどもが身の回りのことを行う力をつけ、家庭での取り組みにもつなげていく。							
	運動・感覚	大型遊具や感覚的な素材の遊具など、こどもの発達や関心事に合わせたあそびの導入を図っていく。戸外活動等を取り入れ、集団で歩くことや身体を使ったあそびを通して、こどもの運動発達や危険に対するコントロールの状況を確認していく。							
	認知・行動	あそびの場で様々な遊具を提供し、集団の中での遊具素材や他者および他児の動きへの認知状況を確認しながら、こどもの興味関心が広がっていくような働きかけを行っていく。あつまりや課題設定の場面において、言語指示や視覚的な提示を交えながら、こどもの理解や認知の状況を丁寧に確認していく。							
	言語 コミュニケーション	あつまりやおやつなどの場面において、個別のやりとりをもちながら、現在のこどもの表現を確認しつつ、表現の幅を広げていく。各場面の中で、こどもの心の動きを見つめながら、要求や拒否や選択などの表現を、具体的な言葉や行動での表現に結びつけていく。							
	人間関係 社会性	大人との個別の関係づくりから始め、こどもの他者への意識や関心を引き出していき、職員をはじめ実習生やボランティアなど様々な人と関わる体験を重ねていく。小集団の中で、他児への関心の状況をみながら、介入してこども同士の関係をつなぎ、具体的場面を通して他児の存在や他児への関わりを伝えていく。							
家族支援		母親：親子療育、グループカウンセリング、保護者研修会、個別相談 父親：父親参観、父親研修、キャンプや運動会等の行事参加、懇親会 きょうだい：キャンプや運動会等の行事参加	移行支援		進路相談を含む保護者の個別相談の実施 移行先への申し送りおよびアフターケアの訪問				
地域支援・地域連携		自立支援連絡協議会のこども部会の運営および参加、地域の関係機関向けの研修開催、地域開放・啓発のイベント（盆踊り、バザー）、		職員の質の向上		園内研修（療育場面のOJTと振り返り、こどもの発達、感染症対策、防災、権利擁護等）、法人内研修（全体研修、階層別研修）、各種外部研修への参加			
主な行事等		入園式、こどもの日、七夕、親子療育キャンプ（2泊3日）、運動会、宿泊療育（1泊2日）、クリスマス会、節分、学習発表会、卒園式など 歯科医師によるブラッシング指導							

<療育の目的>

- ◎ こどもの発見と課題付け（個人の可能性）
- ◎ よりよい親子関係の確立（家族関係）
- ◎ 集団参加へのアプローチ（社会性）

*上記3つの目的を療育の柱として、年間を通したプログラムを実施しています。

<療育の内容>

個々のこどもの発達促進及び家族調整を図る中で、こどもとその家族が地域の中で心豊かに生活を営んでいくための援助プログラムをコーディネートしています。

実施プログラム	
<p>発達支援 (プレイ)</p> <p>【運動・感覚】</p> <p>【認知・行動】</p> <p>【言語・ コミュニケーション】</p> <p>【人間関係・ 社会性】</p>	<p>○集団個人プレイ（プレイセラピー）</p> <ul style="list-style-type: none"> *多種類の遊具を用意し、こども個々の興味付けを図っていきます。 *プレイルームは施設せず、個々に根気よく声をかけながら遊びに戻し、安定して部屋で過ごせるようにしていきます。 *大型遊具、感覚遊具など、こどもの発達状況や関心事に応じた遊具の選定が臨機に行えるよう物的、人的な環境を整えていくことで、こどもが集中して遊具素材に取り組む状況を引き出していきます。 *こども個々の発達状況及び集団の状況を観ながら、遊具を限定したり、緩やかな設定を行い、集団素因作りをしていきます。 *具体的な場面で保護者にこどもの状況を観ていただき、家庭での対応を視野に入れながら、必要に応じて個別的な療育説明や保護者全員を対象にした療育説明を実施していきます。 <p>○課題設定</p> <ul style="list-style-type: none"> *体操やリズム、あつまり(シール貼り)など、皆で取り組む固定化した場面を設定し、社会性や表現力を上げていきます。 *順番、簡単な約束事やルールを加味した遊具設定や遊びを行い、こどもの自己コントロールする力や他者関係(特に他児との)を広げていきます。 *玉さしや紐通し、またシールなど指先を使う素材を使って、目と手の協応動作や集中力や持続力を培っていきます。 *絵本、紙芝居、絵カード、実物の素材などを使って、こども一人ひとりの照合領域の確認をしながら、見る力、聞く力を引き出し、こども自身の豊かな表現や生活の中での生きた言葉につながっていくようにアプローチしていきます。 *集団の状況、こども一人ひとりの状況を観ながら、外遊びや散歩(歩行訓練)を導入していき、運動発達面の力、危険に対するコントロール、集団の動きに合わせる力、大人の指示に応じる力を確かめ、引き出していきます。

<p>生活支援</p> <p>【健康・生活】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 1日の園での日課をわかりやすく固定化し、経験の中で生活習慣を身につけていけるようにしていきます。 *ロッカー、靴箱等を用意し、こどもが自らやっていく環境を整えます。 <p>○食事</p> <ul style="list-style-type: none"> *栄養士による栄養バランスのとれた給食を提供します。利用児童は当施設が調理する給食を食べていただきます。 *豊富なメニューを用意し、家庭との連携を密にしながら、こどもの食育環境を整え、少しずつ偏食の改善を図っていきます。 *アレルギーまたは、身体的な状況によって嚥下の指導が必要なこどもに関しては、主治医の指示をお聞きしながら、栄養士との連携の下、特別食の提供などを行っていきます。 *集団で食べることによって、「いただきます」「ごちそうさま」などの挨拶やマナー、皆がそろりまで待つことなどの体験をし、皆と一緒に食べる楽しさや意識を育てていきます。 *食事というこどもにとって分かりやすい目的を通して、エプロンや箸袋の準備、片付けなどの環境を作り、毎日の生活の中でこどもが自ら行動化していく力をつけていきます。 *カバンやエプロン、箸袋、スプーンやフォーク、箸などの用意を保護者にしてもらうことによって、発達を含めた現在のこどもの状況を実感していただき、以後の家庭での取り組みにつながっていくよう支援していきます。 *園での取り組みが家庭につながっていくよう支援していきます。 <p>○着脱</p> <ul style="list-style-type: none"> *園服(スモック)を導入し、朝、園で着替える環境を作り、自然な形での着脱場面を通して、着脱衣の自立を図っていきます。 *上記の取り組みを重ねていく中で、衣服の前後裏表などの理解が自然にできていくよう援助していきます。 *こどもの上靴を用意していただき、登降園や園外療育時の靴の履き替えの機会を自然に作り、自分で履く脱ぐ力、靴の左右及び上下区別の理解などをつけていきます。 *家庭での普段の取り組みにつながっていくよう保護者の相談にのりながら支援していきます <p>○排泄</p> <ul style="list-style-type: none"> *入園時に、園でオムツをはずすことや着替えを用意していただくことを保護者にお伝えし、園での排泄の自立に向けた環境を整えます。 *家庭での排尿、排便の間隔をお聞きし、失敗時のこどもの状況を注意深く観察しながら、徐々に時間誘導による排泄リズムの定着を図り、こどもの予告表現を引き出しながら、排泄の自立を図っていきます。 *園での取り組みが定着してきた時点で、家庭での取り組みにつながっていきます。
----------------------------	--

<p>宿泊プログラム</p> <p>【健康・生活】</p> <p>【人間関係・社会性】</p>	<p>○親子療育キャンプ（2泊3日）</p> <p>*以下5つ目的を基本とし実施していきます。</p> <p>①都会に住む子ども達を鶯の声が聞こえる郡上の自然の中に開放することにより、豊かな情緒を育み、個々のこどもの可能性の拡大を図ります。</p> <p>②こどもの1日24時間の生活に触れることにより、より確かな個々のプロフィールを認知し、以後の療育への足がかりにします。</p> <p>③親子で宿泊することにより、其々の親子像を客観化し、よりよい親子関係確立への方向を探ります。</p> <p>④こども一人ひとりの集団参加の促進を図っていきます。</p> <p>⑤ボランティアの導入により、療育の社会化を図っていきます。</p> <p>*園児全員参加を原則とし、毎年8月に2グループに分けて実施します。</p> <p>*場所は 岐阜県郡上市大和町小間見 545 番地「あさみどりの会郡上山の家研修所」にて実施します。</p> <p>*参加者は、園児と母親、父親、兄弟姉妹、ボランティア、実習生、職員となります。</p> <p>*保護者に対しては、母親及び父親を対象にして研修を企画、実施します。</p> <p>○宿泊療育（1泊2日）</p> <p>*以下3つ目的を基本とし実施していきます。</p> <p>①園児との24時間の関わり(特に夜間対応)を通して、こどもの発達状況の全容を確認し、適応性の拡大を図ります。</p> <p>②保護者への研修（グループカウンセリング）を通して、より細かな自己表現と確認の場を保障していきます。</p> <p>③保護者間の交流を密にし、親睦を図り、精神的な安定と子育てに対する意識の啓発を図っていきます。</p> <p>*園児全員参加を原則とし、2グループに分け、秋に実施します。</p> <p>*場所は 名古屋市千種区新池町1丁目18番地の2 さわらび園にて実施します。</p> <p>*参加者は、園児の他、母親、ボランティア、実習生、職員となります。</p> <p>*母親の研修は、園長及び主任が担当し、カウンセリング等を実施します。</p>
<p>園外療育</p>	<p>*年2回の園児全員を対象にした遠足を実施し、適応性の拡大や集団の動きに対する順応性、指示理解、場面や場所に対する認知の拡大等を図っていきます。</p> <p>*その他、プール、小グループ等による園外療育については、その都度起案をし、園長の決裁を受けて実施していきます。</p> <p>*園外療育中は保護者、職員共に安全と事故防止に努めます。尚、定められた集合時間以前と現地解散後は保護者の責任の元で行います。</p>

<p>行事プログラム</p>	<p>○誕生会</p> <ul style="list-style-type: none"> *毎月1回の実施で、リズム、歌、手遊び、簡単なゲーム等を交えながら、親子で楽しめます。 *集団参加の場として位置づけ、こども達一人ひとりの参加状況を観ながら、他者の存在や周りの状況等を体験的に認知していけるよう援助していきます。 *そこに参加する皆で一人ひとりのこどもの誕生日を祝い、成長を喜び合う場としていきます。 <p>○さわらび運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> *年1回秋の開催で、さわらび園児、療育G、学童療育Gのこども達と共に成長発達を皆で確認しあう場としていきます。 *家族、ボランティア、実習生、職員、地域の方等の参加を通して、障がいの理解と療育の社会化を図っていきます。 *競技の練習過程も含めて、療育の一環として位置づけ、運動会当日までの発達プロセスをこども、保護者、職員の三者で一緒に辿りながら、こども一人ひとりの持っている力を最大限に引き出していきます。 <p>○学習発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> *年1回3月に実施し、日々の療育の成果を劇やリズム等の演技にアレンジし、こども達の成長発達を確かめ合う場としていきます。 *練習過程も含めて、療育の一環として位置づけ、この1年間にこども一人ひとりが獲得してきた力を最大限に引き出していきます。 <p>○その他の行事</p> <ul style="list-style-type: none"> *その他の行事に関しても、日々の療育の一環として位置づけるとともに、こどもにとっての様々な経験の場として保障していきます。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> *療育センターよりケースワーカー及びPT等の派遣を通し、こども一人ひとりの支援に関して連携を深め、園及び家庭における具体的な取り組みにつなげていきます。 *主治医及びPT、OT、ST等の訓練を受けているこどもに関しては、各々訓練機関より普段の生活の中での留意事項及び指示の内容をお聞きしながら、園の療育の中につなげていくための相談を随時行っています。 *3歳児以上を対象に地域の保育園との交流保育を実施し、こども一人ひとりの集団における発達課題をより細かく明らかにし、今後の支援及び進路等の相談につなげていくとともに、療育の社会化を図っていきます。

児童発達支援事業
自己評価
2025(令和7)年度

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さわらび園		
○保護者評価実施期間	2025年12月24日 ~ 2026年1月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 26	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2025年12月24日 ~ 2026年1月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 16	(回答者数)	16
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【子ども支援】 子どもや保護者が、安心感をもって通園することを保障できた。	毎日、登園する親子とコミュニケーションをとってきた。そして、登園支援も含めて安心できる環境づくりを心掛けて行っている。 また、昨年度の保護者評価での意見なども踏まえ、今年度は、早い時期から外での活動を取り入れた。	学習の機会を持ち続け、職員の専門性をさらに高めて子どものことを知っていく。 引き続き保護者とのコミュニケーションを意識していく。
2	【職員間での連携】 打ち合わせや振り返りを重ね、翌日以降への支援へつなげることができた。	複数担任でクラス運営をしているので、当日の療育内容や子どもへの目標などを職員間で共有し、役割分担しながら行っている。 子どものための会議も、あらかじめ決められた時間以外にも必要に応じて行うなどして、子どもの支援を意識して行ってきた。	複数担任である体制の強みを活かして、適宜打ち合わせや振り返りをしやすい職場環境を育んでいく。 また、設定された会議以外にも急遽行う会議を行っていくことがあるが、そのことが受け入れている親子にとって必要な時間であることなどについて、職員への意識づけや周知を改めて行っていく。
3	【保護者支援】 保護者向けプログラムが充実している。	グループカウンセリングやペアレントトレーニングの実施を定期的に行っている。	機会は設けていても、今年度はさまざまな事情で参加できなかった保護者も例年以上にみえた。 そういった方にも参加してもらえるような工夫や働きかけを検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【職員配置】 きょうだい児への対応等で、支援の優先度や役割分担等が見えづらく、保護者に不安を与えている。	園としてきょうだい児も含めた家族支援を意識しているため、職員がきょうだい児の安全確保や関わりに回る場面があるが、保護者への説明や配慮が十分でなかった。	きょうだい児の対応が必要な場合には、その必要性を言語化して伝えていく。
2	【療育体制】 療育のスケジュールが朝の登園状況に左右される。(時間で療育が始まらない。)	登園時の聞き取りを丁寧に行っている。 遅れて登園した親子の対応を行っている。	登園の受入がよりスムーズに行えるよう、対応を検討していく。 遅れてきた方への対応を工夫していく(必要な対応をしながら、療育全体を開始していくための工夫を検討していく)。
3	【保護者支援】 保護者によっては話しづらさを感じている方がいる。	グループカウンセリングの機会は定期的に設けているが、家族の状況をよく把握したうえで個別相談につなぎきれなかった可能性がある。	改めて職員側から保護者の状況を気にかけていくとともに、保護者からも話しかけやすい雰囲気づくりを意識していく。 保護者からお聞きしたことを、職員間で共有していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	さわらび園
------	-------

公表日 2026年 3月 30日

利用児童数

26

回収数

23

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	4	0	0	・多動な子どもが多いため、少し部屋が狭く感じる時もある。 ・親子療育の日など人数が多い時は少し狭く感じます。その時に活発な子どもが走り回っていたりする場合などが起きると危険を感じる時があります。	活動内容や過ごす人数によって使用する部屋やスペースの調整をしています。今後も上記状況などによって部屋を移動したり、パーティションの開閉をするなどして、こどもの活動等のスペースを確保していきたいと思っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	2	2	0	・先生が付きっきりできようだいいの面倒を見ている場面をよく見かける。子供が本来受けられるサポートが受けられていないと感じる。 ・偏っていると思う。	園児への職員配置数は市の基準である3対1を満たした運営をしています。親子療育日には、各ご家庭の思いなどもお聞きした上でできようだいいもともに登園していただいています。園児への支援に繋げるために、必要に応じてきょうだいへの対応をさせていただくことがあります。今後、改めて必要な際にはその旨を伝えていくことで、通っている全園児に適切な療育支援をしていけるよう職員間でご意見の共有をしていきたいと思っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	0	0	0		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	3	0	0		より専門的なスキルをもって支援にあたるよう、施設内外の研修に参加しています。研修を踏まえて、いま通われているこどもへの理解を深め、支援にあたるようさらに学びを深めたいと思っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1	0	1	・入園時に園から貰った紙に「9:50頃分離」「10:00活動開始」と書いてありましたが、遅く登園している人が多く始まりが遅れているのが気になります。時間に間に合うよう子供の状況に合わせて準備しても結局は1番最後に登園した人の朝の聞き取りが終わるまで待たなければなりません。時間になったら一旦区切りをつけて療育をスタートしてもらいたいと思っています。	登園保障や、日中保護者と分離して過ごすにあたり、必要な聞き取りは随時させていただいております。全体活動のスタート時間の遅滞については、今回いただいたご意見を職員間で共有し、円滑なスタートができるような体制を意識していきます。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	23	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	0	0	1		児童発達支援計画には右記項目を記載して、保護者の方へ具体的な支援目標や内容として提示させていただいております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	2	0	0		

保護者への説明等	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	0	0	1	外遊びの機会が増えて嬉しいです。	昨年度の事業所評価での意見を反映し、また子ども自身が園外で過ごせる力をつけてきたことで、外遊びの時間を増やすことができました。今後も子どもの状況も踏まえて活動プログラムを立案していきたいと思います。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	16	2	3	2	・もう少し機会が増えるといいと思います ・子どもの年齢が低いので未参加であるから。	園内での療育経過が重なっていることを前提として、地域との交流を行っています。受け入れ先との調整もありますので、全園児での交流は難しいですが、交流の機会は今後も継続していきたいと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	0	0	0		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	22	0	1	0		保護者の方と親子療育日そのほか随時子どもの状況を伝え、話し合う機会を設けるようにしていますが、どの保護者とも共通理解していけるよう、今後改めてお話を重ねていけるよう努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	3	0	0	・人に聞かれたくない悩みを相談するタイミングを選ばなければいけないので、なかなか相談しづらい。	改めて、どの保護者からどんな内容の話でもお聞きできる体制を整えていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	1	0	0	・きょうだい向けの交流がキャンプ位でしかなく、もう少し交流できる場が増えればと思う。	保護者会の活動を援助し、その中で保護者同士の交流の機会となるよう支援しています。きょうだい児については、密接にかかわる機会は限られてはきますが、キャンプをきっかけに仲良くなり、別イベントで出会った際に交流につながるような機会づくりにはなっていると思います。今後も参加するきょうだいの皆さん同士の交流の場となっていくような楽しい企画も行事を通して考えていきたいと思っています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	0	0	1		相談の機会については、随時体制整備をしてお受けしていますが、改めて保護者の方に意識され、実際に迅速かつ適切な対応をしていけるよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	0	0	2		活動や行事の予定については、コドモンで閲覧できるよう随時発信しています。また日々の活動報告としては、ホームページやInstagramを活用して発信しています。自己評価はホームページ上で公開しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	0		

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1	0	1	事細かなマニュアルは一部これから策定のものもありますが、特に防犯や感染症対応、災害時における緊急時対応については、マニュアルに沿って研修や訓練を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	0	0	1	月に1度避難訓練を実施しています。地震、火災の非常災害を想定した訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いませんか。	22	1	0	0	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いませんか。	22	0	0	1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0	通園開始し2ヶ月半たったが、すでにさわらび園に慣れている様子だ。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	2	0	1	・ブランコが大好きな息子は毎朝近隣の公園で遊んだ後通園するが、通園開始2ヶ月半ごろに公園でひと遊び後自ら荷物を持とうとした。そして母親の手を引いて園に向かった。大好きなブランコよりもさわらび園が楽しみな場所になったと感じた。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1	0	0	・日々メキメキ成長していく息子はすごいが、息子と向き合い成長を手取り足取りサポートしてくださる先生方にとっても感謝していますし、尊敬しています。いつもありがとうございます。 ・車以外の通園手段しかない家族への支援がほしい。
						多くの方に安心感をもち、楽しみに通っていただいている意見をいただき、嬉しく思っております。今後も、子どもや保護者の方が安心して通ってこられる場を提供できるよう職員一同心掛けていきます。	
						車以外の登園手段の方には、市からの公共交通機関を利用の際の付き添いサポートして下さるご案内をしています。また、登園そのもののサポートとしては、登園状況を聞き取ったうえで、駅近くまで様子を見に行くなど、必要に応じて支援を行っています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		さわらび園		公表日		2026年 3月 30日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は定員に満たしていないこともあり、スペースは例年より確保できているように思う。 ・バージョンをその時の状況に合わせて使用していたり、活動に応じて部屋を変えたりしている。 ・教室の大きさに関しては問題はないと思います。 	保護者からの意見では、活動内容や動きによっては、狭く感じるという意見もありましたので、限りある部屋の中でできる最大限の工夫を今後もしていけたらと思います。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	3	<ul style="list-style-type: none"> ・適切だとは思いますが、研修や出張、定休日が増え、人がいない日が多い。 ・当日の子どもの登園状況があるので状況が不透明なことを理解しているが、きょうだい児の預かりがある人が足りないと感じることがある。 ・あと1〜2人ほど職員があればより深く関わられる可能性が増えると思う。 	今年度は定員に満たないところを、正規職員を定員数対応の配置の上、パート職員もおり、プラスαの人数の職員で受け入れをしているため、適切以上な配置数と言えます。適切な配置数の中でどんな工夫ができるのか、引き続き意見交換や工夫をしていけるとよいと感じています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋自体の空きが少ないので、随時、対応しているが、全員には対応できていない。 ・療育室の他に教室があつていいと思います。 	館内の部屋数は限られているので、その中でできる工夫を今後も検討していけたらと思います。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	3	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方や業務量に関して、全体で話し合う場が欲しい。 ・わからないのでいいえにしました。 	広義でいえば全体が参画できていると思いますが、全員がそう感じられるようになるために、直接声に出して主体的な意見交換を求めている動きに繋げていけることが今後の課題と考えています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で共有する時間を取ってくれている。 ・時々職員間での共有不足を感じる時がある。 	職員間での共有不足を感じていることに対して、どんな工夫ができるのかを発信していけることが今後の課題と考えています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	3	<ul style="list-style-type: none"> ・業務に関しての面接を年に一度行ってくると良い。 ・意見を聞いて貰うことはできているけど反映されていると言われたら微妙に感じる。 ・あるとは思いますが少ないのかもしれない。 	役割分担についてのアンケートを実施後、面談を行いました。聞いた意見が業務上すべて反映できるものかどうかを適切に判断した上で、実際の業務改善につなげていけたらと考えています。今後さらに職員の学びを重ね、より多角的な視点や意識での意見交換をしていけるよう努めてまいります。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	3	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり、外部評価の話などは聞かないため、現状が分からない。 	今年度より事業所評価検討会議に外部よりメンバーに入っていたり、結果を業務改善につなげていきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修は多く、充実していると思う。 ・多くていいと思います。勉強になります。 			

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	1	・その都度、相談しながら行う時間は取られている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	1		支援計画の細かな共有はパート職員にまで行き届いていない現状はあるかと思えます。同じ方向性を向いて支援をするために、限りある時間の中で伝えていく工夫を検討していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	3	・支援前、毎日充分に行う時間はないが、必要なタイミングでは、行えていると思う。 ・忙しくてできていないと感じる時もある	朝礼にて全職員で打ち合わせを行い、そのあとに出動した職員にも伝わるよう記録を残しています。また、行事前含め随時、規模に違いはあっても打ち合わせを行っています。今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	4	・毎回はできていないが、なるべく職員間で共有するようにしている。 ・振り返りの時間は取られていない。職員間で個々で振り返りをしている。	パートさんとの振り返りや打ち合わせは日常的には難しいので、各職員間で行った話し合いの内容が当日やその時間に不在だった職員にも伝達されていくような工夫は改めて検討できるかと思っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	1		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	0		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	0			
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0			

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0		
		(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	16	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	16	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	1		通園の職員の参加は、現状では企画内容や職員体制にもよるので、今後体制づくりなどを検討し、積極的な参加を目指していきたいと思っております。
		(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	14	2		療育経過の重なっていることで交流する機会に繋がりにくいので、今後改めて、まずは通い始めたこどもたちが園内で安定する支援を意識していきたいと思っております。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	0		家族支援は当園の特色の一つとして、保護者の療育参加以外にも、週1回のグループカウンセリングや、月1回の母親研修会など、研修の機会を定期的に持っています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16	0		保護者からの意見では、きょうだい児の交流する機会を求める意見が聞かれました。現状、きょうだい児の参加できるイベント(キャンプ、運動会等)で、どんな交流ができるのか、職員間でも話し合えたらと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16	0		・コドモンがどのように使われているかあまり理解していません
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	0		

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16	0		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等とともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	1		月1回の火災避難訓練に加えて、近年は地震発生時の訓練や研修も重ねることができています。今後、大きな非常災害にむけても策定されたBCPを使用し、訓練を行っていかれたらと思います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16	0		看護師の配置によって、より丁寧な状況確認ができるようになりました。今後も看護職からの意見も聞いていながら、適切な把握ができるよう努めてまいります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0		一時的に共有の薄れたことがあったので、改めて再発防止のために園内での共有や今後の対応策を検討していくことの大切さを職員一同で意識していかれたらと思います。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16	0		

保育所等訪問支援事業
自己評価
2025(令和7)年度

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターさわらび園		
○保護者評価実施期間	2026年1月15日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17(うちきょうだい2名)	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年1月15日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2026年1月8日		～ 2026年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	13	(回答数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【本人支援】 ・本人の思いや意思を大切に支援している。 ・子どもの姿、環境(人的、物的)をみて、療育の専門性をもって支援先に伝えたり、人との関係や環境の調整を行っている。	・保護者や訪問先のニーズや願いを踏まえた上で、療育的な支援をすることを意識している。 ・保護者や訪問先とコミュニケーションを取ることを意識している。	・本人がいる集団の環境や特色などを知り、現状に合う支援の探求に役立てる。
2	【訪問先への支援】 ・本人に関わる担任以外の多職種の方と話をすることで連携し、本人理解を深めることができている。 ・本人の育ちを取り巻く多くの人たちと連携することで、より細やかな支援につなげることができている。	・まずは訪問先の話聞いた上で、子どもの発達や置かれている状況を客観的に観て子どものことを伝え、共有している。 ・支援の振り返りは、時間内で支援の場で伝えたり、支援時間内に話をすることが難しい場合は電話等で振り返りを行い、次回の支援につなげるようにしている。(時間の取り方については、支援先の状況による) ・担任と話す時間を持つことができないときであっても、担任以外の職員とも話をすることができたため、子どもの様子を訪問先に伝えることはできている。	・訪問先のニーズも把握しながらコミュニケーションをはかり、子どもへの支援の共有の基盤をつくる。 ・連携がしっかりとれたケースについては、丁寧に支援プロセスの振り返りを行い、今後の実践に活かしていく。
3	【保護者支援】 ・子どもの姿を観て療育の専門性(発達支援)を持って伝えることができている。 ・本人の成長過程を踏まえて、将来を見据えた話ができている。	・保護者のニーズや願いを踏まえた上で、療育的な支援をすることを意識している。 ・保護者とコミュニケーションをとることを意識している。	・保護者に向けて、さわらび園としての保育所等訪問支援の内容(教材は使用せず、療育の専門性による支援)を、事業説明や個別支援計画の説明時に話をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【支援期間】 ・支援開始時に、明確な支援の終了時期を定めていない。	・保護者、訪問先、支援者それぞれの見立てや思いがあるため、支援の達成度が明確にしにくい。	・子どもの集団での目標を明確にしていく。 ・訪問支援事業の趣旨(保護者や支援先へ、集団へ繋げていくきっかけや橋渡しをすること)を、丁寧に説明をしていく。 ・支援の評価時期を明確にしていく。 ・支援の終了について、子ども本人への意思確認を改めて意識していく。

2	<p>【保護者支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援者と話す時間が持てないと感じている保護者がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から話を聞きやすい環境や方法に工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気になったことがあれば、連絡をもらうよう改めて保護者に伝える。 ・子どものことを知ってもらう機会やフィードバックの仕方を工夫していく。
3	<p>【振り返りについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援時間に限りがあるため、支援の振り返り時間に十分な時間がとりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを限られた時間で行う工夫は、今も実践しながら模索を重ねている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援時間や振り返りの時間の設定の工夫をしている。 ・支援者間の情報共有について検討していく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	さわらび園					公表日	2026年 3月30 日	
			利用児童数	17	回収数	9		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2	1	0	6	・見ていないので、分からない。	さわらび園の保育所等訪問支援では、現状では教具教材の用意ではなく、スタッフの療育スキルによって、対象児の置かれている環境の中でできる工夫やいまあるものの用法を助言する等の支援を行っております。	
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	8	1	0	0		面談時には、園内の相談室や相談スペースを使用しています、	
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	9	0	0	0			
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	8	1	0	0	・いつも調整して、訪問していただき感謝しています。	訪問先の活動内容や、対象児への必要頻度などを鑑みて、訪問先と相談し、決定しています。決定後は保護者に支援日を伝達しています。	
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思えますか。	8	0	0	1			
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	8	1	0	0	・小学校への訪問の事例が少ないので、他の小学校の様子が分かりにくい。	こどもの発達状況、特性等に加え、対象児の置かれている環境も踏まえた支援を行っております。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されていると思えますか。	9	0	0	0			
	8 保育所等訪問支援計画(個別支援計画)には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	7	0	0	2		支援計画の作成時には、一番には保護者の願いや思いを反映させ、訪問先でのこどもの現状を把握したうえで、いま訪問先で設定できる目標を定めています。	
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	9	0	0	0			
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	8	0	0	1	・電話報告だけだと忘れてしまうが、どんな支援をしたかを記録に残してくれて、学校面談の時などにとても役立ち感謝しています。		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	8	0	0	1	・小学校は時間割で動くので、どんな様子だったか、その都度担任や支援コーディネーターの先生と共有する時間がない。	こどもの置かれている環境を訪問先から聞き取ったうえで、必要な支援が最善のかたちで提供できるように配慮しています。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0				
13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0				
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	0	2		当園の療育グループに所属している家族には、療育時間内での研修を組んでいます。また所属のない家族については、研修等の情報が入った際には連絡するなど、情報提供に努めています。		
15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	9	0	0	0	支援している児童が多く忙しいので、情報共有する時間確保が難しい。	面談等は家族に連絡した上で、時間を確保していますが、保護者からも連絡のとりやすい体制を改めて意識していきます。		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	1		
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1	0	0	・支援している児童が多くとても忙しい。	⑮同様、面談等は家族に連絡した上で、時間を確保していますが、保護者からも連絡のとりやすい体制を改めて意識していきます。
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	1		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	7	0	0	2	・第三者の視点で見てくださるので、とても分かりやすい。	訪問先と支援についての情報共有や話し合いの時間は、訪問先の状況によってその場であったり、別の時間に電話を入れる等の工夫をしながら行っております。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	7	0	0	2		
22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	9	0	0	0			
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1	0	5		ざわらび園としてのホームページ・SNSがあり、情報発信できるような活用をしていますが、保育所等訪問支援については、改めて発信内容も含めて検討していきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	1		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2	1	0	6		施設内での研修は重ねていますが、各訪問先によって緊急時や安全確保への対応は異なりますので、今後改めて訪問先施設との連携を意識していきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	3		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	8	0	0	1	特性上アドバイスされると怒ってしまう時がある。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0		多くの方に嫌がられず、満足の結果をいただけてありがたく思います。今後も満足のいく支援を提供できるよう掛けていきたいと思います。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2026年 3月 30日

さわらび園

訪問先 13 回収数 12

チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	11	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・該当児以外の気になる子についても、助言をいただけてとてもありがたかったです。 ・目の前にいる子どもの姿から、どのような困り感をもっているのか、また、どのような関わりをしていくとよいか、その子のこれまでの様子や、家庭での様子なども背景に置いた上で具体的にアドバイスをいただけるので、保育の中でとても助けになっている。また、具体的に教えていただけるので、保育に取り入れやすい。 ・いつも適切な助言をいただけます ・「指示の内容ややるのが具体的であると伝わりやすい」という助言が参考になった。 ・子どもの些細な言動についても、ご助言いただき、子どもの深い実態把握をすることができました。 ・毎回色々と相談にのって下さりアドバイスを下さったのでリアルタイムで取り入れができた。 ・いつも穏やかにアドバイスをくださいます。 	多くの支援先から具体的なアドバイスと受け取っていただけており、ありがたく思います。引き続き具体的でわかりやすい支援を提供できるよう努めてまいります。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者からの視点とは違った視点から、助言をいただくことで、新たに気づくことができたことも多かった。 ・保育者目線とは違った専門的な見方での関わりを覚えてもらえることはとても助かっている。 ・ご助言いただいたことが、対象児の理解をふかめることに繋がる ・授業の様子でどこに困っていたのか、行動の理由は何かを分析してフィードバックをくれるので助かった。 ・支援員の方の専門的なお話を聞くことができ、様々な角度から子どもを捉えることができました。 ・色々な角度から見ていただけたので勉強になった。 ・対応に困っている時、納得のできる支援方法を教えていただけます。 	療育の専門スキルによる知識や経験、技術等によって支援にお伺いしています。引き続き、訪問先のみならずまへのアドバイス等していただけるよう学んでいきたいと思ひます、
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・質問に対しては、その都度回答をもらっている。 ・毎回質問に答えていただき助かりました。 ・いつも回答が早く、とても参考になります。 ・アドバイスはもちろん、一緒に考えたり、悩んで下さったりした。 	今後も、ご質問いただく内容に適時・適切にお答えしていけるよう努めてまいります。

4	<p>保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。</p>	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入園以前の様子を伝えてもらったり、保護者さんの様子を伝えあい共有できる点があった ・保育者として、該当児童に関わる際の、関わり方や気持ちの持ち方に変化が出てきた。 ・保育者では気がつかない視点で助言をいただけるので、とても参考になっています。2週間に1度、1ヶ月に1度などと定期的に見にきてもらえることで、保育者自身が教えてもらったことを確実にやっていくいい機会になっていて、日々の保育の中で流れてしまわないことがいいと思っている。また、やってみてどうだったかをさわらび園の先生とその日に振り返ったり、1年の振り返りをしたりする時間があることもとてもありがたい。 ・支援児に向けての見守りが様々な角度からあることで、より広く関わられるようになった ・定期的に訪問していただき、対象児童の変化についても教えていただけたので助かりました。 ・学校(一教員)だけで抱えていたことが、支援員の方とお話することで、負担感が軽減されました。 ・支援員さんと同じ気持ちや考え方だったので、自分の保育に安心することができた。 	<p>訪問先の担任の先生方が対象児について悩んだりこれでいいのかと思われている部分にも寄り添いサポートさせていただきました。訪問支援員が支援に入ることで、先生方の普段の保育や教育の一助となっていくよう、今後も支援させていただけたらと思います。</p>
5	<p>事業所からの支援に満足していますか。</p>	12	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・機会があれば、ぜひまたきていただき、助言をいただけるとありがたいです。 ・保育者だけでなく、子どもを中心に保育園、保護者、さわらび園とみなで同じ方向をみて関わる基盤を作ってもらっているので満足しています。 ・一人ひとり思いや、そこにたどり着くまでの過程を丁寧に見ていただくことが出来ている ・保護者とも情報共有をしていただけたのも助かりました。 ・幅広く支援していただき、とても助かりました。たくさんお話を聞いてくださりありがとうございます。 ・お話しやすかったので色々な質問にも対応してくださった。 	<p>引き続き満足いただける支援を提供できるよう努めてまいります。</p>
<p>その他のご意見</p>					<p>ご意見を踏まえた対応</p>	
<p>・先生には、大変お世話になっています。ありがとうございます。これからもよろしくお願 いします。 ・いつもありがとうございます。</p>					<p>多くの先生方から支援について満足度や支援力について高く評価いただけており、ありがたく思います。 今後も支援を希望される子どもやその家族、担任の先生方の通常の保育や教育環境の一助となっていけるような支援を提供できるよう努めてまいります。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	さわらび園				公表日	2026年 3月 30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	1	・特に学習活動の場面で、訪問先の担任に対して、子どもの状況に応じた補助具やその用法の提案を行っている。 ・特に教材は利用していませんが、園や学校の環境の中で工夫して支援できることを訪問先の職員の方と考えて取り組んでいます。	特に保護者に対して、さわらび園の保育所等訪問支援では教具教材の使用ではなく、療育スキルからの助言等による支援であることを改めて周知していく。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0			
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	・訪問支援と並行して、本園の親子教室を利用している子や保護者に関して、情報共有や支援の在り方をより細かく話し合える とよい。 ・支援に入る職員は、基本的には一人に対して一人のため(一人職場のため)、支援の状況やあり方を現在は月に2回の会議で検討していますが、訪問してきた日に支援を振り返りを兼ねて、訪問員が話して表出することが次の支援につなげられるといいと思います。	より業務改善を進めるための振り返りや情報共有等の時間設定について、検討していく。	
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		昨年度より実施し、今年度の業務改善につなげることができた。今後も貴重な意見聴取の場と捉え、業務改善につなげていく。	
	5 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・会議を設定し職員の意見等を把握する機会を設けている。 ・月に2回の会議で、情報共有をしているが、報告の場は、もっと多くてもよいと思う。	③同様、より業務改善を進めるための振り返りや情報共有等の時間設定について、検討していく。	
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0		今年度より実施。評価結果を業務改善につなげていきたい。	
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0		園内外での研修に参加・派遣しているが、保育所等訪問支援そのものの研修は外部で年1回開催のため、今後さらに外部も含めた研修の機会を設けていけるといいと感じる。	
	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0			
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0			
10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0				
11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0				
12 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1		適応状況の目安は現状、明確に文字化されていないので、今後整理していけるよう検討していく。		

適切な支援の提供	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	・直接現場で支援に入るのは、ひとりのため、支援に偏りがないように、対象児の状況や支援の方向性を会議や個別に他の職員に声を掛けて確認している。	※(設問11)と同じ質問
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	・訪問先の担任などとは、支援開始前に、その日の活動内容や支援方法について対話を行っている。 ・訪問先の施設の職員の方には、確認をして支援に入っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	2	・必要に応じて、話し合いの場を設けている。 ・支援後に必ず打ち合わせをする場を設けることは難しいが、その日の支援について話をしたりしながら振り返る機会は設けている。 ・訪問先の職員の方に声を掛けている。	訪問先はこどもを受け入れ対応しているため、どの訪問先でも支援終了後に話をすることは難しい。今後もそれぞれの訪問先や担任の先生の状況を踏まえて打ち合わせや振り返り、情報共有していく。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	21	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	・訪問支援として、他の専門機関に助言をもらう機会が少ないように思うので、多角的に何が支援に必要か検討しながら、専門性を高めたり、他の事業所の取り組みを知る機会があるとよい。	⑦同様に、保育所等訪問支援そのものの研修の機会は市内だと現状年1回と限られている。類似の研修等に参加する機会をもっていけるとよい。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1	・必要に応じて参加できる体制を整えている。	現状では訪問支援員として定期的な参加はないので、今後の参画については検討していく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	・療育グループに通っている幼児の保護者には、家族支援として研修をしている。小学生等の保護者への支援は、今後考えていけるとよい。	園の療育グループに所属している家族には、療育時間内での研修を組んでいる。また所属のない家族については、研修等の情報が入った際には連絡するなど、情報提供に努めていく。
27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0			
28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0			

保護者等への説明等	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	1		訪問支援を利用している家族を対象にした親の会活動やきょうだい会等の機会はなく、療育グループに所属している保護者にはペアレントトレーニングや療育活動を通しての親同士の交流はみられる。今後どう形成していくのかは課題。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	1		ざわらび園としてのホームページ・SNSがあり、情報発信できるような活用をしていますが、保育所等訪問支援については、改めて発信内容も含めて検討していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0		・可能な限り、支援後に訪問先にて振り返りを行っている。訪問先での振り返りが難しい場合には、電話にて連絡をとり話し合う時間を設けている。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		・園としてマニュアルを策定し、訓練を行っている。 ・訪問支援事業としては、訪問先での支援であるため、対象家族や子どもを対象にした訓練を行うまでに至っていない。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		

45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	1	・事前説明を行っているが支援計画への記載は行っていない。	今後、支援計画への具体的な記載を検討する。